

スピーチプライバシーシステム

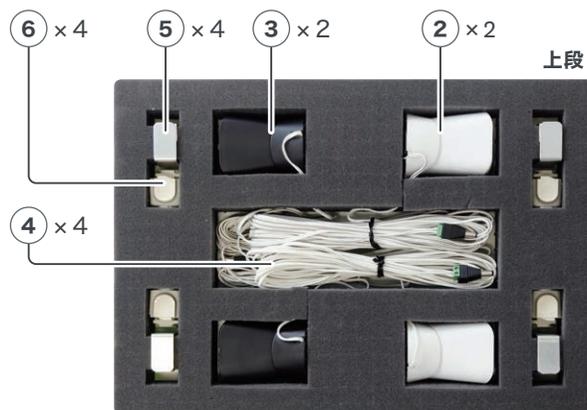
## VSP-2 デモ機 利用マニュアル



### デモ機の内容物・注意事項

#### デモ機の内容物

|   |                |    |   |                 |    |
|---|----------------|----|---|-----------------|----|
| ① | コントロールユニット(本体) | 1台 | ⑥ | ライティングレール取付コネクタ | 4個 |
| ② | スピーカー 白        | 2台 | ⑦ | 電源コード 本体用       | 1本 |
| ③ | スピーカー 黒        | 2台 | ⑧ | 電源コード 延長用       | 1本 |
| ④ | スピーカーケーブル      | 4本 | ⑨ | プラスドライバー        | 1個 |
| ⑤ | パーテーション取付金具    | 4式 | ⑩ | デモ機説明用資料        | 1式 |



製品の内容物

実際の製品とデモ機は仕様が異なります。デモ機は設置作業がスムーズに行えるようカスタマイズや簡易設置用金具を加えております。実際の製品には簡易工事が必要となりますのでご注意ください。

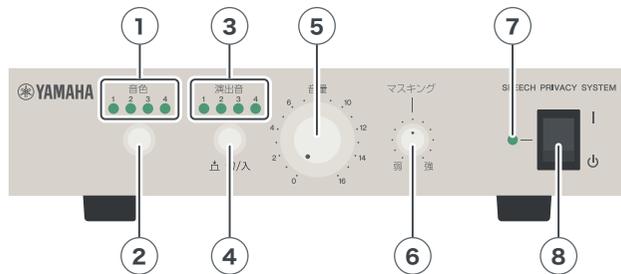
#### 注意事項

- スピーカー及び取付金具に他のものを載せたり、ぶら下げたりしない
- スピーカーと取付金具に時計など磁気の影響の恐れがあるものは近づけない
- スピーカー及び本体を分解、改造しない

# STEP 2 | VSP-2について知る・本体電源を入れる

## 名称と接続方法

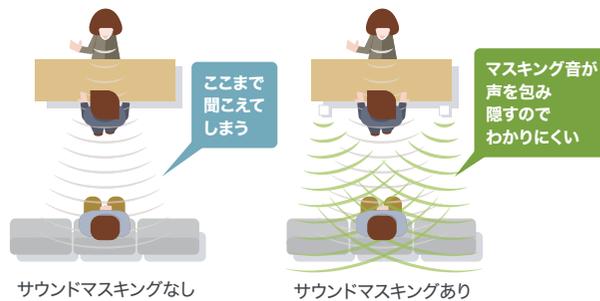
### 本体について



- ① 音色ランプ
- ② 音色選択ツマミ
- ③ 演出音ランプ
- ④ 演出音選択ツマミ
- ⑤ メインボリューム
- ⑥ マスキングボリューム
- ⑦ 電源ランプ
- ⑧ 電源スイッチ

### スピーチプライバシーシステムとは 音を消すのではなく、会話を「わかりづらく」するサウンドマスキング技術です

マスキング音と呼ばれる特殊な音が会話を包み隠し、第三者に「何かは話しているが、会話内容まではわからない」という状態を作り出すシステムです。ノイズキャンセリングのように、音を消すわけではありません。



### 知っておいていただきたいこと

#### 重要

VSP-2は話者に控えめな声でお話いただくなど、使用者のご理解・ご協力を得て効果を発揮するシステムです。

VSP-2は話者がプライバシーに配慮した「控えめな声」で話す時に効果を発揮します。普通の声量・話し声では、会話の内容が聞きとれる場合があります。

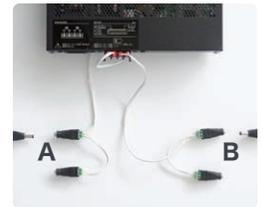


### ケーブルを接続して電源を入れる

1. ⑦の電源ランプが消灯していることを確認する

2. スピーカーに接続されているケーブルコネクタを本体に接続されているケーブルコネクタに差し込む

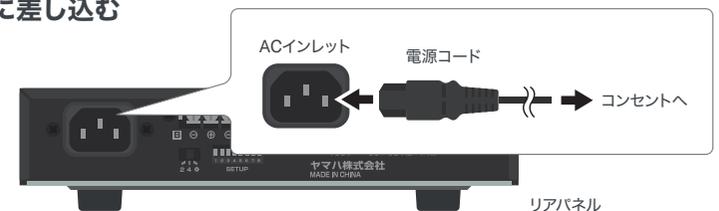
- ・スピーカー2台使用時は、AとBの片側1か所ずつに差し込む。
- ・スピーカー4台使用時は、4つのコネクタ全てに差し込む。



3. ⑤のメインボリュームを左いっぱいに戻す



4. 付属の電源コードをリアパネルのACインレットに接続し、電源プラグをコンセントに差し込む



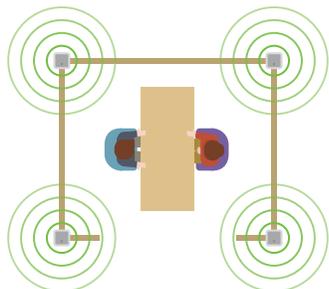
5. ⑧の電源スイッチをオンにする

# STEP 3 | スピーカーを設置する①

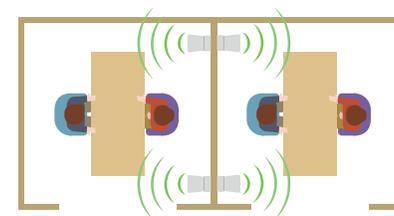
## 設置シーン例

### SCENE 1 パーテーション

会話の音漏れ VSP-2の情報マスキング音

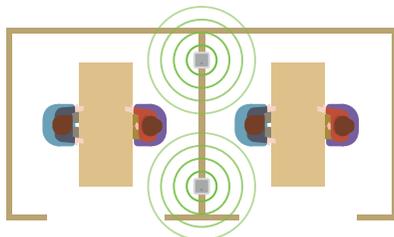
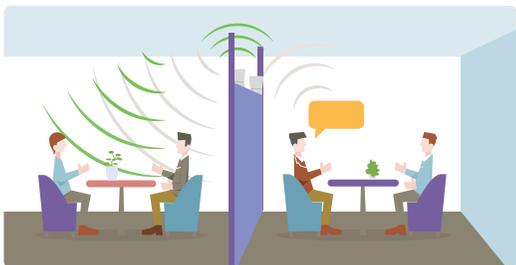


### SCENE 4 隣接した壁

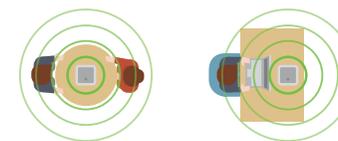
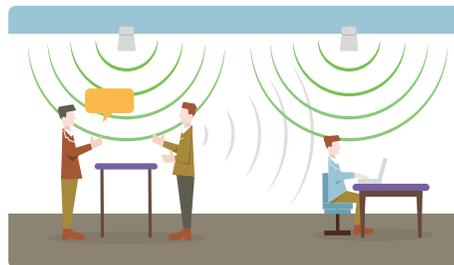


### SCENE 2 欄間オープン

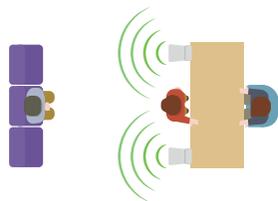
設置できない場合や効果が低い場合、SCENE4の位置に設置してください



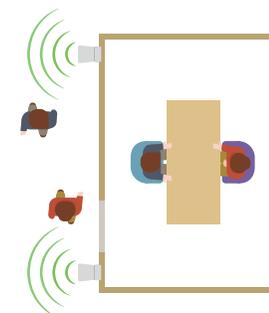
### SCENE 5 オープンエリア



### SCENE 3 カウンター



### SCENE 6 ドアの間隙



# STEP 3 | スピーカーを設置する②

## スピーカーの取付位置(水平・垂直)・向き

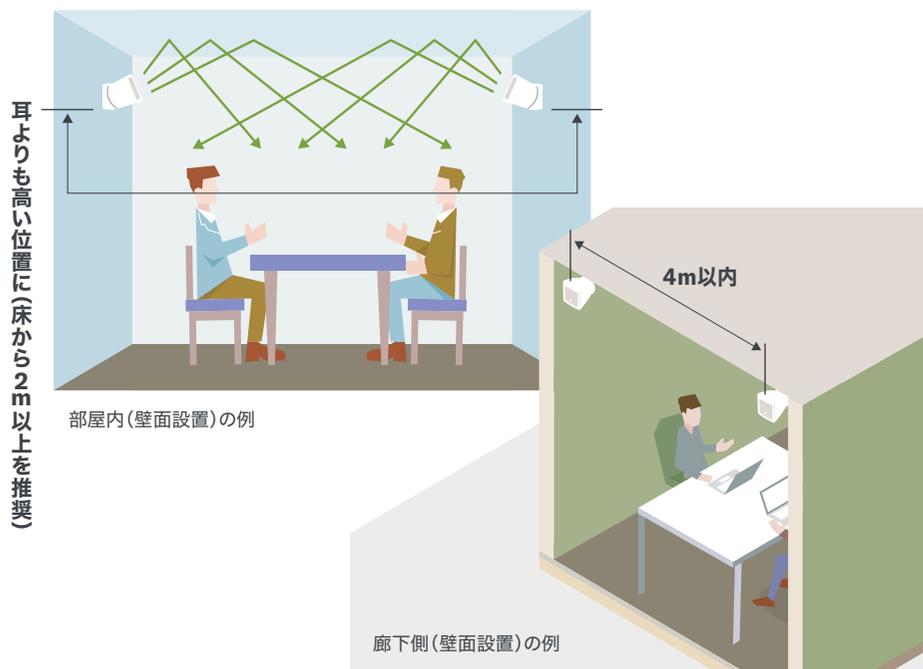
### 取付位置と向きについて

人に対して直接ではなく、なるべく間接的に音が届くようにスピーカーを設置してください。スピーカー間の距離は4m以内に設置してください。

#### 壁面設置の場合

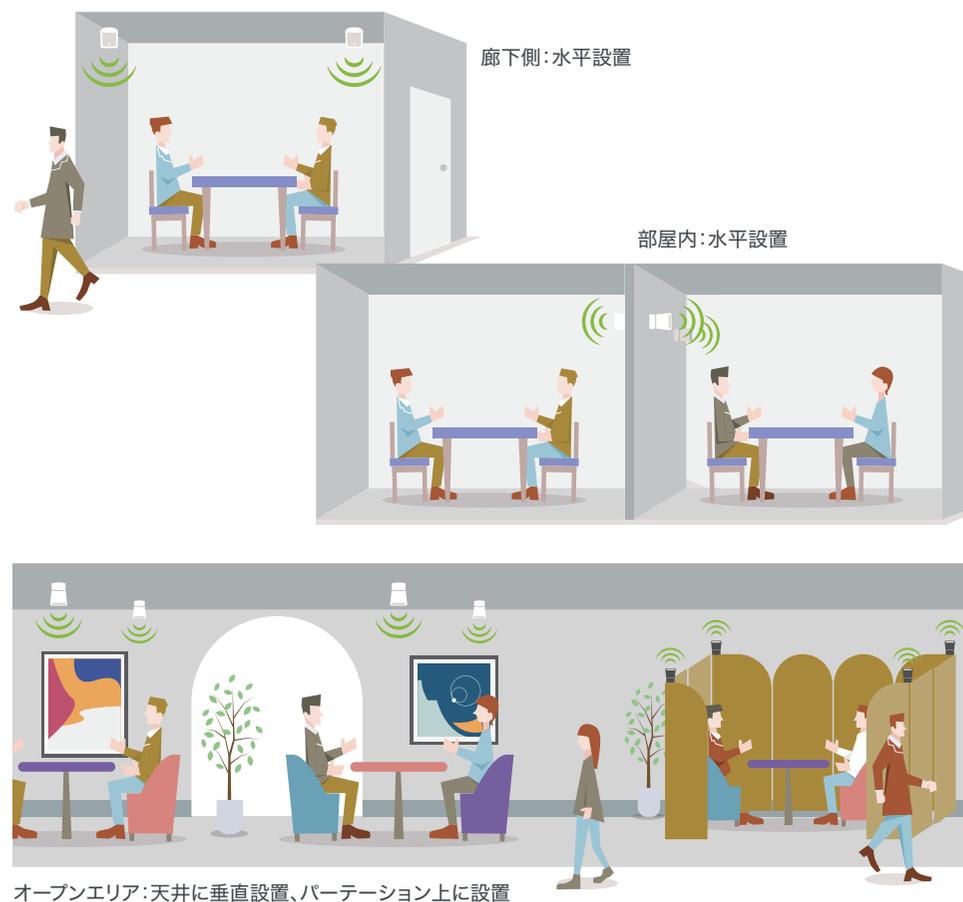


#### 天井設置・吊り下げの場合



### スピーカーは「聞かれたくない人」に向けて設置します

会話内容を聞かれたくない側(廊下や隣の部屋)にスピーカーを設置して、音を出します。他人の会話内容に邪魔されずに仕事に集中したい場合は、集中したい方に向かって音を出します。



# STEP 3 | スピーカーを設置する③

## 各種取付金具・キットの使い方

### スチール壁への取付方法

スピーカー裏に強力磁石が付いているため、スチール壁にそのまま取り付けることができます。



スチールではない壁には取付できません。スチール壁ではない場合は、VSP-2スタンドセットをご使用ください。詳細は右の「天井への取付方法」をご覧ください。スチールではない壁や壁を傷付けたくない場合は、こちらの方法で取り付けることができます。スピーカー裏面が強力磁石になっているため、時計や磁気カードなど磁気が発生するものを近づけないでください。スチール壁によっては、壁に傷が付く可能性がありますのでご注意ください。

### パーティションへの取付方法



パーティション取付金具を使用します。  
(取付可能なパーティションの厚さは20mm～60mmです。)

### 天井への取付方法

#### VSP-2スタンドセットを利用する場合



#### 1 治具と三脚を接続させ、 治具部分にスピーカーを装着します

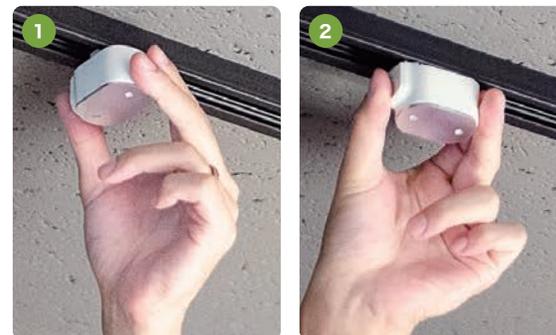


#### 2 スピーカーを水平もしくは下向きに 固定し、壁際に三脚を立てます



#### ライティングレールを利用する場合

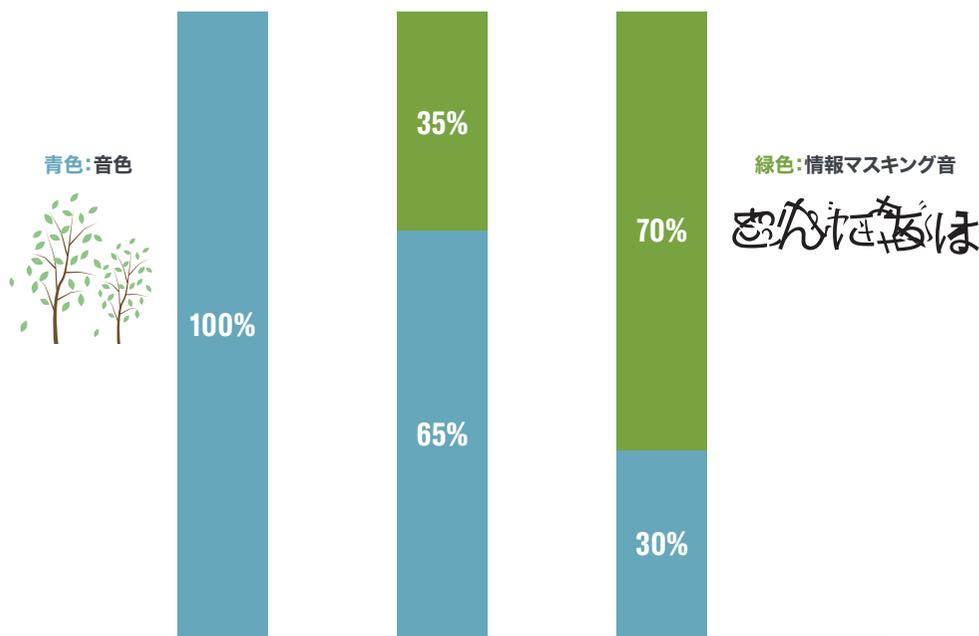
- 1 コネクターを溝に横向きに入れます
- 2 コネクターを時計回りに90°回します
- 3 コネクターに対しスピーカーはこの向きで取付けます
- 4 コネクターに近づけると磁石で固定されます



# STEP 4 | 音量・音色・マスクング比率を設定する①

## 情報マスクング音の比率について

- 情報マスクング音: 複数人の声を合成したヤマハ独自のマスクング音で漏れる会話と「融合し」、比較的小音量で会話内容を不明瞭にします。
- マスクングボリュームのつまみで、音色と比率を変えることができます。
- 「情報マスクング音」を目盛1にしても、マスクング効果はあります。



音色: 各音色には快適な環境をつくるための音が組み込まれています。

音色は、音色選択つまみで変更できます。

| 音色 No. | 音色       |
|--------|----------|
| 1      | 森の音      |
| 2      | 川のせせらぎの音 |
| 3      | 都会の雑踏の音  |
| 4      | 室内空調の音   |

演出音: 音色に味付けする音で会話から気をそらす効果があります。

演出音は、演出音選択つまみで変更できます。

| 演出音 No. | 演出音   |
|---------|-------|
| 1       | ギター   |
| 2       | ピアノ   |
| 3       | オルゴール |
| 4       | 電子音   |

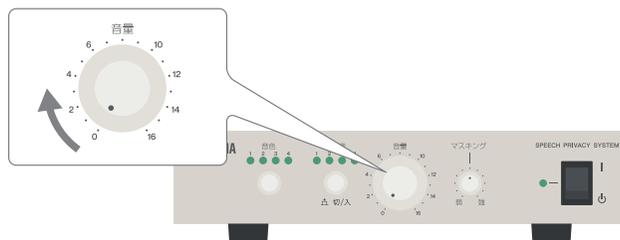
### 利用シーンごとのマスクング音比率・音色の推奨例

| マスクング音を流すエリア | エリアの音環境              | 情報マスクング音 (目盛) | 音色    |
|--------------|----------------------|---------------|-------|
| 執務スペース       | 普段は会話が少なく集中作業などを行う場所 | 1~3           | 4     |
| 会議室          | 会議など、会話が継続的にされている場所  | 3~6           | 任意    |
| ミーティングスペース   | 活発な会話が複数の場所でされている場所  | 6~11          | 3または4 |

# STEP 4 | 音量・音色・マスキング比率を設定する②

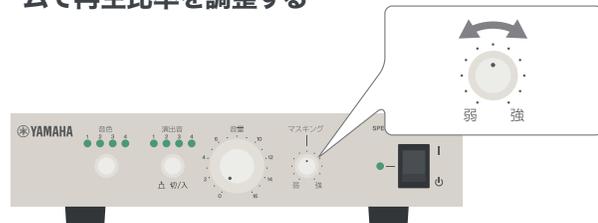
## 1 音量を調整する

メインボリュームで音量を設定する



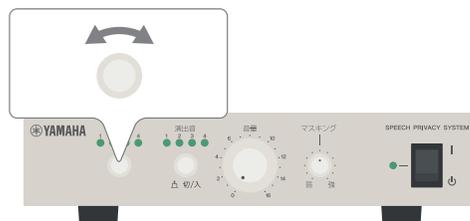
## 2 マスキング比率を調整する

マスキングボリュームで再生比率を調整する



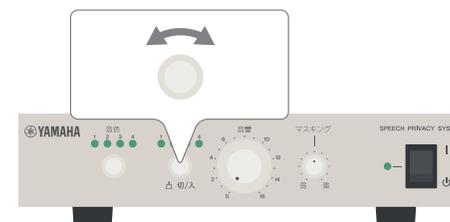
## 3 音色を選択する

音色選択つまみを回す



## 4 演出音を選択する

演出音選択つまみを押して、ランプが付いていることを確認し、つまみを回してください



※ 演出音が気になる方はもう一度つまみを押し、オフにしてください。(マスキング効果に影響はありません)

### 最初は不自然に感じても、徐々に音に慣れていきます

最初は違和感を感じるかもしれませんが、人間の耳は慣れていきます。\*  
効果を感じた音量に、段階的に上げることもオススメです。

※ 聴覚における慣れ (habituation)

聴覚器官に特定の刺激が持続もしくは繰り返して提示されると、刺激に対する反応が次第に弱まり、ついには消失する現象。

例えば、「8」が理想の音量の場合・・・ 初日は「6」、2日目は「7」、3日目以降「8」にする



# STEP 5 | マスキングの効果を確認する

1 効果の確認は3人でいきます。

2 VSP-2の電源を入れ音量・音色を設定します。設定の目安はP6を参照してください。

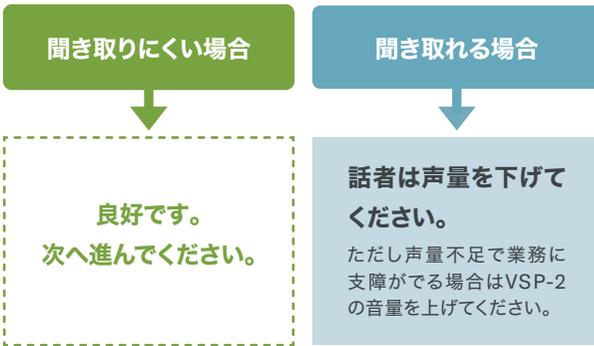
3 エアコンやBGMなど、業務時間に作動させている機器の電源を入れ、普段通りの音が出ている状態にしてください。

4 下図のように3人が話者・対話者・第三者役となり、話者・対話者は業務を想定した会話を行ってください。この時、話者は業務に支障のない範囲の控えめな声で話してください。



5 第三者役の方は、隣の部屋の会話内容が聞き取りにくい確認してください。

※多くの人が会話をしているなかでも、聞き耳を立てるとその内容を聞くことができます。話者も対話者も普段と同じように業務をしながら、その会話が入ってくるかご確認ください。



6 話者、対話者、第三者の役割を交代しながら4~5を行い、全員が控えめな声の程度を確認します。



※交代で話者役を勤め、全員が第三者に聞き取りにくい声の大きさを把握できたら完了です。

## 会話の内容が聞き取れる場合

5の確認で第三者が会話内容を聞き取れる場合、話者はより控えめな声量でお話してください。

|               |              |            |
|---------------|--------------|------------|
| 「控えめな声」でも聞こえる | 聞こえづらい       | 大きな声は聞こえる  |
| 聞こえる 😊        | 聞こえる 😞       | 聞こえる 😞     |
| 暗騒音 ※1        | ヤマハ マスキング音 😊 | ヤマハ マスキング音 |
| 暗騒音           | 暗騒音          | 暗騒音        |

※1 暗騒音: その場所にもともと存在している音。  
\*上記はイメージ図であり、設定環境、設置条件により暗騒音、聞こえづらい範囲は変更します

話者が声量を控えめにすると業務に差し障りがある場合は、VSP-2の音量を上げてください。音量を上げるとマスキング効果は上がりますが、周囲の「うるささ」も増します。話者の声量とVSP-2の音量の関係で、マスキング効果と周囲の音環境は変化します。声量と音量のバランスを調整して、ご使用場所にとって最適な設定を行ってください。